



いちご組（0歳児）

友だちが登園してくると、先に遊んでいた子がハイハイで友達に近寄り、抱きしめる仕草をするようになりました。小さな手を友達の肩に回してトントン。2人でにっこり、うれしい気持ち。今度はその様子を見ていた子が、友達に同じようにムギュ！トントン。いちご組お決まりの挨拶になってきましたよ。‘今日も会えたね’‘よかったね’そんなやりとりが聞こえてきそうな雰囲気です。知っている友だちにいつも会える、いつもの場所。大人もそういう所があると安心した気持ちになり、「自分の居場所」と感じられますよね。子ども達にとって、いちご組の部屋が安心できる場所になり、「僕・私の居場所」と感じてもらえていたら嬉しいです。

さて初プールは笑顔いっぱい、夢中がいっぱいでした。ビニール袋や水風船等も用意して楽しもうと思います。（正田）



さくら組（1歳児）

今年は梅雨明けが早く、毎日暑い日が続いています。しかしそんな暑さにも負けず元気いっぱいに登園している子ども達。水分をたくさんとって、こまめに水分補給をしていきたいと思います。最近、自分の思いを保育士に伝えようと、片言や身振りで一生懸命教えてくれるようになってきました。友達との物の取り合いやイヤイヤが増えてきたので、その都度、寄り添いながら話すと納得してくれることもあります。今後もその子の気持ちを汲み取っていききたいと思います。また毎日の習慣もあり、保育士が声をかけると、エプロンやオムツを自分でマークを探し、引き出しから持ってこれるようになってきたりと、いろいろなことが少しずつ出来るようになってきました。暑い日が続くので、プールに入って身体を冷やしながら、たくさん遊んで過ごしていきたいと思います。（古澤）



ちゅうりっぷ組（2歳児）

日に日に自分で出来る事が増えていく子どもたちの姿に嬉しい気持ちいっぱいの毎日を送っています。ちゅうりっぷ組になってからおやつや給食を食べ終えた後に鏡を見ながら自分で顔を拭いています。ゴシゴシとこすっている子もいれば優しく撫でるように拭いていたりと三者三様ですがみんな真剣な表情に変わりありません。最初の頃は拭き残しもありましたが今では上手になり「きれいになったよ」と嬉しそうに見せてくれるのです。その自信に満ちた表情に微笑ましくもあり成長の喜びを感じます。また、友だちとの関わりがますます増える中、物の貸し借りの場面などで気持ちがぶつかってしまうことも増えてきました。「貸して」「いいよ」「ありがとう」など自分の気持ちを上手く伝えながら関わる事が出来るよう丁寧に伝えて行きたいと思います。（木村）



もも組（3歳児）

天気の移り変わりが多いこの時期。今月から当番活動が始まりました。「お当番」というフレーズに特別感を持ち、いつ自分が当番なのか気になったり、「今日のお当番は誰なの？」と聞いたりしています。最初はみんなの前に立つと緊張し、モジモジしている子や保育士と手を繋いでいる子がいましたが、段々慣れ大きな声で話すことが出来るようになりました。当番カードをめくる時はワクワクしている様子がとても可愛く思います。プールも始まり、大きなプールに入ることを怖がったり、喜んでプールの中ではしゃぐ子もいます。保育士との水のかけあいでは全身ビチャビチャになるぐらい楽しんでいきます。友達に水をかけるときは「目つぶってね、いくよ～」という会話を聞いてほほえましく思います。週末爪が伸びていないか確認をしてからの登園をお願いします。（今井）



ばら組（4歳児）

梅雨が明け、夏がやってきましたね！子ども達は毎日「今日はプール入れる？」と決まったように聞いてくるのですよ。既に薄っすらと日焼けして元気いっぱいです。安全に気を付けながらプール遊びを楽しんでいきたいと思います。

当番活動では皆の前で挨拶をしたり、畑の水やり野菜の収穫、ザリガニの餌やり、掃き掃除をお願いしています。畑の野菜に水やりをしながら「いつ食べられるかな～？」ほうきで掃きながら「ごみは真ん中に集めるんだよ！」と色々な事に興味を待ち、期待しながら取り組んでいます。当番をすることで、できなかったことが出来るようになってきたり、段取りを考えたり、クラスの一人として仕事を任される喜び、「自分の仕事」として責任をもつことの大切さ等、沢山の事を感じています。出来ることが色々と増えていきますね！（滋野）



ゆり組（5歳児）

いよいよ楽しみにしていた太鼓やソーラン節の練習が始まりました。太鼓は部屋に響き渡る音に少し戸惑うこともありましたが、素直に保育士の話を聞きやる気に満ち溢れています。ソーラン節では「どっこいしょ、どっこいしょ！」の掛け声も大きく出せるようになってきました。最近では「どっこいしょ！やる？」と子どもたちから催促されます。仲間と共に動きを共有し、共感しながら踊ることにより、より一層楽しさを味わうことができます。最年長児としての自覚が芽生え最近はずっと成長が見られます。友だちと一緒に取り組むことで育ち合い、さまざまな事が日々の保育で向上していますね。遊びがより豊かになるよう、保育士も仲間の一人として加わりながら、子ども同士の思いやアイデアをつないでいく援助をしていきたいです。（月足）